

【総合的な学習の時間】 第3回授業 指導案

芝浦工業大学柏中学高等学校 探究科

1. 単元名 チーム編成

2. 本時の概要

本時は、2026年度中学2年生の「総合的な学習の時間」における第3回「チーム編成」の授業である。

中学2年生の探究活動では、1年をかけて社会課題の解決に向けたポスター作成を行い、最終的には外部コンクールへの提出を目指す。これまでの活動で生徒は、自身の興味・関心とSDGsの17ゴールを関連付け、社会との接点を見出してきた。

この活動において特に重視しているのは、「他者との協働」と「多様性の尊重」である。共通の課題意識を持ちつつも、異なる得意分野や役割を持つメンバーが集まることで、より深みのある探究が可能となる。自分と違う強みを持つ仲間と互いに補い合いながらプロジェクトを完遂する経験は、社会に出た際の基盤となる力である。

第3回となる本時では、まず興味関心が近い者同士での自己紹介を通じて、互いの探究したいことや関心ワードを共有する。次に、自身の特性や希望をA～Dの4つのタイプから選択し、「興味関心の近さ」と「メンバーの多様性」の双方を考慮した3～4名のチームを編成する。これにより、本格的な探究活動を開始するための組織的な土台を構築する。

これらの活動を通して、自身の役割を自覚し、仲間と協力して課題に立ち向かう意欲を高めることで、次回以降の具体的な探究活動につなげるため、本時を設定した。

3. 本時の目標

- **多様なチーム編成の意義の理解:** 異なる強みやタイプを持つ仲間が集まることでチームの力を高めることを理解し、自分とは異なる視点を持つ他者と協働して探究を進めることの価値を把握できる。
- **自己の役割の認識と相互理解:** 自身の関心ワードや「A～Dタイプ」の自己分析を通じて、チーム内での自分の役割を自覚するとともに、自己紹介を通じて仲間の興味や得意分野を理解することができる。
- **主体的な対話による組織形成:** 共通の関心事や補完し合える資質を基準に、自ら積極的に他者に働きかけ、合意に基づく3～4名のチームを主体的に形成することができる。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- **教員用提示資料:**
 - 授業スライド 第3回
- **使用教材(副教材):**
 - 岡本尚也(2024)『ゼロから始める探究活動 課題研究メソッド ZERO』新興出版社啓林館

- 生徒用配布プリント：
 - 自己紹介・特性タイプ(A～D)ワークシート
- 参考文献：
 - 佐藤浩章編(2021)『高校教員のための探究学習入門 問いから始める7つのステップ』ナカニシヤ出版

5. 本時の展開(100分:50分×2コマ / 中間休憩10分)

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
2分	1. 本時の流れと目的を把握する。 「自己紹介」と「仮チーム編成」という活動の全体像を理解する。	スライドを提示し、本時のゴールは「探究を共にするチームを組むこと」であることを明示する。
43分	2. 共通の興味を持つ仲間と自己紹介を行う。 指定された果物グループ(興味関心別)ごとに着席し、1人1分の持ち時間で「名前」「探究したいこと」「関心ワード」を共有する。	時計回りに発表を進めるよう誘導し、教員はタイムキーパーとして各グループの進捗を管理する。全員が発言できるよう、心理的な安全性を確保する声掛けを行う。
5分	3. 1時限目の振り返りと移動の準備を行う。 自己紹介を通じて得た仲間の情報を整理し、休憩後のチーム編成に向けた意識を高める。	興味が近かった生徒や、自分の強みと異なる強みを持っていたような生徒を意識させる。
【2時限目】		
10分	4. 自身の特性タイプを選択・記入する。 配布されたワークシートを用い、自身の行	スライドで各タイプの特徴を説明する。「こんなふうに関わりたい」といった意欲ベースでの選択を促す。

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
----	------	---------------

動特性や得意分野をA～Dの4タイプから2つ選択し、具体的な理由を記入する。

35分

5. 多様性を意識した仮チームを編成する。

「3～4名」「A～Dのうち少なくとも3タイプ以上を含む」「興味関心の近さ」の条件を満たすチームを、主体的な対話を通じて結成する。

「異なる強みを持つ仲間がいることでチームは強くなる」という多様性の意義を強調する。

主体的に動けない生徒に対しては、教員がキーワードを基にゾーニング(特定の場所に集める等)を行い、対話を仲介する。

チーム結成後、メンバー情報を管理システムへ入力し、仮テーマを考案させる。

5分

6. 次回の予定を確認する。

決定した仮チームと、次回のテーマ具体化に向けた活動について説明を聞く。

入力漏れがないか確認し、チーム形成が完了したことを全体で共有して締めくくる。